

この事業は、未病を推進する神奈川県との協力や県医師会の了解、逗子市の後援のもと実施します。

check /  
これらの症状は  
**軽度認知障害  
(MCI)の  
サインかもしれません**

- ☑ 人と会う約束を忘れた
- ☑ 家電製品の操作にまどづくことが増えた
- ☑ 少し前に話した話題を繰り返す
- ☑ 物忘れが増えて怒りっぽくなった
- ☑ 最近の大きなニュースの記憶があいまい

今回の事業は認知症の方を対象としたものではありません。65歳以上で元気に暮らしているが、最近物忘れが多くて不安な方、今は気になる症状はないが、これからも自分らしく生活していきたい方が対象です。認知症はゆっくりと進行し、本人や家族も「年を取ったから」と放置されることが多いです。早い段階で認識し、生活習慣の改善や予防事業を行うことで、10年後も20年後も元気に暮らしていく。健康診断のように、こんなことが当たり前になる世の中になればと実施するものです。

参加申し込みコールセンター 3/19(金)より受付開始

☎ **03-6634-5294** 4/9(金) 締切

説明会 **4/22(木) 4/23(金)**  
①10時～ ②13時～ ③15時30分～

運動コース **5/10(月)～6/14(月)**  
11時～12時30分

音楽コース **5/13(木)～6/17(木)**  
①10時～11時 ②12時～13時

朗読コース **5/13(木)～6/17(木)**  
①14時～15時 ②16時～17時

人数 各コース20名(応募多数の場合は抽選)

会場 キングカルティオ  
(逗子市逗子5-2-48キングプラザ4F)

費用 無料

対象 65歳以上で、説明会と全6回の講座にすべて参加できる方



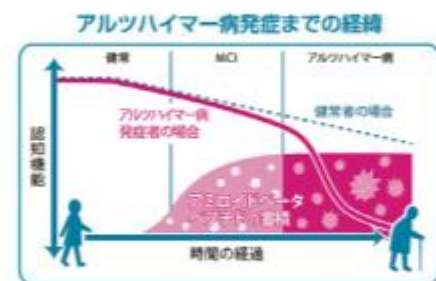
予防事業者紹介

- ・アップテン(運動コース):  
こころ(脳)とからだの健康づくりを提唱し、健康増進サービスを提供。今回は運動をメインにプログラムを提供する
- ・ツモリレコード(音楽コース):  
懐かしい音楽や映画を活用した認知症予防サービスを提供。音楽回想療法で楽しみながら行えるプログラムを提供する
- ・げんごろう(朗読コース):  
朗読などを通じて高齢者の声と言葉を鍛えて健康寿命を延伸するための認知症予防専門プログラムを提供。

## 健康診断のように 軽度認知障害のリスクを診断

### 認知症予防事業 参加者募集

認知症のなかで最も多いアルツハイマー型認知症は、発症する約20年前から主な原因物質であるアミロイドベータペプチドが脳内に溜まり始め、神経細胞を破壊することで認知機能が少しずつ低下し発症します。筑波大学発医療ベンチャーの株式会社MCBIが開発した「MCI(軽度認知障害)スクリーニング検査」では、アミロイドベータペプチドの排出や毒性を弱める機能を持つ血液中の3つのタンパク質を調べることで、そのリスクを判定します。認知症の前段階である状態をデータで示すことで、進行させないための行動に繋げてもらうものです。今回は、参加者それぞれの対策に役立ててもらうほか、より効果的な予防事業の発見、推進につなげる認知症予防事業の効果測定のため、プログラムを体験していただきます。その前後で7ccの少量な血液を採取し慈恵医大で検査分析を行います。費用は無料で、全国初となる実証事業です。



主催：認知症予防コンソーシアム：株式会社MCBIのほか、検査データを分析評価する慈恵医大、認知症予防事業者らからなる共同事業体。株式会社MCBI…筑波大学発の医療ベンチャー企業。同大の内田和彦准教授らが立ち上げ、自社開発した軽度認知障害(MCI)のリスクを調べる血液検査を全国の病院で提供している。

【つくば本社】茨城県つくば市吾妻3-5-15 オカバつくばビル3F 【東京事務所】東京都千代田区飯田橋2-14-7光ビル4F <https://mcbi.co.jp/>